

# 令和3年度第44回全国高等学校柔道選手権大会群馬県予選実施要項

- 1 主催 群馬県高等学校体育連盟 群馬県高等学校体育連盟柔道専門部
- 2 後援 群馬県柔道連盟
- 3 日時 令和4年1月15日(土) 男女個人試合 10時30分試合開始  
令和4年1月16日(日) 男女団体試合 10時30分試合開始
- 4 会場 A L S O K群馬県総合スポーツセンター A L S O Kぐんま武道館 第一道場  
前橋市関根町800 電話：027-234-5555
- 5 競技規定 国際柔道連盟試合審判規定(最新)ならびに(公財)全国高体連柔道専門部申し合わせ事項による。
  - (1) 団体試合
    - ア 試合時間は3分とする。
    - イ 「優勢勝ち」の判定基準は「技有」または「僅差」以上とする。なお、僅差は「指導差2」とする。
    - ウ チームの勝敗の内容が同等の場合は代表戦を行う。代表戦の方法は「競技方法」で定める。
  - (2) 個人試合
    - ア 試合時間は3分とする。
    - イ 「優勢勝ち」の判定基準は「技有」または「僅差」以上とする。なお、僅差は「指導差2」とする。
    - ウ 試合終了時に技による評価が同等の場合は、ゴールデンスコア方式の延長戦を時間無制限で行い、必ず勝敗を決める。なお、延長戦では「技有」以上の得点、または「指導」の数に差がついた時点で試合終了とする。
- 6 新型コロナウイルス感染対策  
本連盟作成の「新型コロナウイルス感染症に係る群馬県高体連主催大会等実施ガイドライン」に沿った対策を講じるとともに、細部については、各競技団体作成のガイドラインや群馬県作成の「新型コロナウイルス感染症に係る県主催イベント等開催ガイドラン」に準じた万全の対策を講じること。
- 7 競技方法
  - (1) 団体試合
    - ① 男子団体試合
      - ア トーナメント戦を行う。
      - イ 各チーム間の試合は勝ち抜き試合とする。また試合ごとにオーダーの変更ができる。
      - ウ 大将同士が引き分けの場合、代表選手を任意に選出して代表戦を行う。代表戦の優勢勝ちの判定基準は「技有」または「僅差」以上とし、試合終了時に得点差がない場合はゴールデンスコア方式の延長戦を時間無制限で行う。延長戦の判定基準・実施方法は個人試合に準ずる。
      - エ 新型コロナ感染拡大傾向によっては、「勝ち抜き試合」を「各試合ごとにオーダー変更可能な点取り試合」とする場合もある。(事前に通達を行います、急きょ変更もありますのでご注意ください)
    - ② 女子団体試合
      - ア 各チーム間の試合は点取り試合とする。ただし、参加校が6校以下の場合、リーグ戦を行う。リーグ戦において、引き分けの場合は代表戦によって必ず勝敗を決する。
        - ※ 試合は各チーム3名で行い、試合ごとのオーダー変更は行わない。
        - ※ リーグ戦の各試合において、同点で1位となったチームが2チームの場合は本戦の結果による。3チーム以上の場合、任意選出の代表戦を抽選によるトーナメント方式で行う。本戦より試を行い、試合終了時に得点差がない場合はゴールデンスコア方式の延長戦を時間無制限で行う。
      - イ チーム対チームの勝敗は以下の項目に従って決定する。
        - [1] 勝ち数の多いチームを勝ちとする。
        - [2] [1] で同等の場合は「一本」による勝ちが多いチームを勝ちとする。
          - \*ただし、一本勝ちと反則勝ちは同等とする。
        - [3] [2] で同等の場合は「技あり」による勝ちが多いチームを勝ちとする。
        - [4] [3] で同等の場合は代表戦を行う。

代表戦は引き分け対戦の中から抽選で選び、ゴールデンスコア方式の試合を時間無制限で行う。延長戦の判定基準・実施方法は個人試合に準ずる。なお、引き分け対戦がない場合は、両者反則負けなどで勝敗がつかなかった対戦を代表戦とする。また、両チームが選手の負傷などで2名しかおらず、引き分け対戦がない場合などは、代表選手をすべての対戦の中から抽選で選出して、ゴールデンスコア方式の試合を時間無制限で行う。
  - (2) 男女個人試合
    - ア トーナメント戦を行う。
    - イ 新型コロナ感染拡大傾向によっては、10出場制限(3)・(4)に記載の「階級の変更または中止」となる場合もあります。(県内で実施できたが、全国大会が中止となることもございますので、ご注意ください。)
- 8 引率・監督
  - (1) 引率責任者は、校長の認める当該校の職員とする。(但し、公立学校にあっては教員とする。)また、校長から引率を委嘱された「部活動指導員」(学校教育法施行規則第78条の2に示された者)も可とする。但し、「部活動指導員」に引率を委嘱する校長は、県高体連会長に事前に届け出ること。
  - (2) 選手は必ず、当該校の引率責任者に引率され、引率責任者は選手のすべての行動に対し責任を負うものとする。
  - (3) 監督は校長が認める指導者とし、それが外部指導者の場合は傷害・賠償責任保険(スポーツ安全保険等)に必ず加入することを条件とする。

## 9 参加資格

- (1) 参加選手は、本連盟柔道専門部に登録した者であって、平成15年4月2日以降に生れた者で1、2年生に限る。但し、同一学年での出場は1回限りとする。
- (2) チームの編成は、全日制課程、定時制課程、通信制課程の生徒による混成は認めない。
- (3) 転校後6ヶ月未満の者は、参加を認めない。但し、一家転住の場合は特例として参加を認める。
- (4) 参加選手は、日常的に健康状態を確認し、当日は「健康状態申告書」を提出すること。
- (5) 県内予選については、男子団体2名以上で参加できることとする。

## 10 出場制限

- (1) 男子団体試合 1校1チーム 監督1名、選手5名、補欠1名、計7名とする。選手2名以上でエントリーできる。
- (2) 女子団体試合 1校1チーム 監督1名、選手3名、補欠2名、計6名とする。  
選手の配列は、先鋒：52kg以下、中堅：63kg以下、大将：無差別級とする。但し、体重の軽いものは重い階級に出場できる。また補欠は該当する階級に出場できる。
- (3) 男子個人試合 1校監督1名、選手各階級4名以内の計15名以内とする（無差別の選手は他の階級を兼ねる事はできない）。階級は60kg級、66kg級、73kg級、81kg級、無差別の5階級とする。
- (4) 女子個人試合 1校監督1名、選手の出場数は制限しない。階級は48kg級、52kg級、57kg級、63kg級、無差別の5階級とする。

## 11 大会中止条件

群馬県高等学校体育連盟作成の「新型コロナウイルス感染症に係る群馬県高体連主催事業大会等実施ガイドライン」の「2.県高体連主催大会再開に当たっての基本的考え方」に示されている開催条件が整わない場合。県内の感染状況に鑑みて、安全が確保できないと判断した場合。その他群馬県教育委員会又は群馬県高等学校体育連盟より大会の中止指示等があった場合。

## 12 表彰

各校顧問を通じて次の者を授与する。個人試合の各階級1～3位に表彰状を授与する。

## 13 参加料

1チーム3,500円・個人試合1名1,000円 大会当日に受付で監督が納入する。

## 14 申込

12月3日（金）までに必着。下記事務局にメールと郵送の両方で申し込む。

〒378-0014 群馬県沼田市栄町165番地2 電話 0278-23-1131

利根実業高校 福田 隆行 メールアドレス fukuta-8836@edu-g.gsn.ed.jp

12月8日（水）13時30分から県立勢多農林高等学校（前橋市日吉町2-25-1）で常任委員会を行う。

15時00分から常任委員及び各校代表者で組み合わせ抽選を行う。

## 15 選手変更

大会前日の午後5時00分までに委員長へ連絡する。補欠の補充は1名までとし、伝染病その他天災による場合は特例を認める。大会当日に当該校長の証明書、医師の診断書、柔道整復師のいずれかを委員長に提出する。なお、個人試合の選手変更は認めない。

## 16 計量

1月15日（土）、女子は医務室にて9時20分～9時50分（時間内計量）

男子は大道場にて9時20分～9時50分（時間内計量）

## 17 受付

大会当日、役員及び監督・選手がぐんま武道館2階西側玄関にて、次の時間内に行う。

9:00より開場のため、各校ごとに整列し、入場する。入場の際に「健康観察記録表」の提出を行う。

## 18 監督・審判会議

10時00分より第一道場の第4会議室にて行う。

## 19 その他

- (1) 別紙「感染防止ガイドライン」の内容を確認のうえ、遵守する。
- (2) 選手は所定のゼッケンをつける。
- (3) 全国大会出場権  
団体優勝校並びに各階級優勝者は令和4年3月20日（日）・21日（月）日本武道館で行われる第44全国高等学校柔道選手権大会の出場権を得る。但し、団体戦における選手の人数は、男子は3から5名でもよい。なお、3名もしくは4名の場合は、後ろ詰め（先鋒・次鋒、もしくは先鋒を空ける。）とする。参考として、43回大会までは、「選手は5名まででもよい」となっていました。女子は3名が出場の条件となる。
- (4) 脳振盪対応について、選手および指導者は下記事項を遵守すること。
  1. 大会前1ヶ月以内に脳振盪を受傷した者は、脳神経外科の診察を受け、出場の許可を得ること。
  2. 大会中、脳振盪を受傷した者は、継続して当該大会に出場することは不可とする。（なお至急専門医（脳神経外科）の精査を受けること。）
  3. 練習再開に際しては、脳神経外科の診断を受け、許可を得ること。
  4. 当該選手の指導者は大会事務局および全柔連に対し、書面により事故報告書を提出すること。
- (5) 貴重品の管理は各自で行うこと。
- (6) ゴミは必ず持ち帰ること。
- (7) 選手・監督・役員・係生徒・各校補助生徒以外の会場への入場は禁止する。無観客試合とする。